

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもステーションあそび家・上峰

公表日 R 8年3月12日

利用児童数 R 8年2月28日 28人

回収数 20世帯 (24世帯中)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	5	1		あそび家1号店と比べると、学習室や庭が狭いと思う。体育館やスパークが近くて活用しやすいのは良いと思う。	当初の指導訓練室に隣の建物の3部屋を追加して学習室やPC学習室にしている。庭には人工芝を敷き、フェンスを手作りし、プランターに花を植えるなど、明るく快適な空間で活動しやすいように改善に努めている。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	1			あそび家1号店に比べると職員が少ないように思う。足りていると思う。配置数がどれくらいいいのかよくわからない。	管理者(指導員兼務)自発管1名、常動児童指導員3名、非常動児童指導員1名(PC指導)を配置。開所時は3~5名で支援している。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	8			トイレは広いと思う。裏の出入り口が狭いと感じる。表入り口はスロープになっているが、バリアフリーと言えるか分からない。	学習する場所、荷物を置く場所、室内活動用具の保管場所、運動する場所など活動の内容に応じて、子供たちが動けるように、分かりやすく明示するようにしている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	5			見学時に見ただけなので、よくわからないが、指導訓練室や荷物置き場、お菓子の棚など、分かりやすくコンパクトに整理されていると思った。	敷地が狭いため、不用品を排除し、花植えや池づくりなど子供たちが自分たちでやる環境整備を行っている。生き物を育てることも取り入れて、子供の活動に合わせた快適で安全な空間となるよう努めている。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1			子供達それぞれの特性をよく理解していると思う。	保護者様との面談や日々の活動を通じた中で、職員同士が話し合い、共有しながら、子供たちの特性に応じた支援ができるように、日々模索し実践している。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	2			5領域での通所支援計画を作成されている。公表されている支援プログラムをよくみていない。	事業所の支援プログラムについては、保護者も皆さまに周知し、共有した上で改善などを話し合いながら、基盤となる支援プログラムにしていこうとする。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	20				その子に合わせた課題を考えてもらっていると思う。子供も状態をよく把握して支援計画を作成してもらっていると思う。	利用当初は暫定的な計画になることもあるが、日々の支援の中で子供の事の特徴を理解し、保護者との連絡調整を重ねて、利用者の抱える課題やニーズに沿った個別支援計画を職員間で検討して、本計画を作成している。今後は支援会議という形で作成していく。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1			本人支援に重点を置いて支援してもらっている。家族支援、移行支援については、よくわからない。	家族支援については、ご家族からの相談への対応がほとんどであり、面談や連絡帳のやりとり、送迎時にお話をして相談に依っている。移行支援については、進学や就職先との連絡調整や家族の相談に対応していくもので、保護者への周知を図り、相談支援と協力して取り組む。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20				子供も状態をよく把握し、それに対する細かく明確な支援計画を作成し、実践してもらっていると思う。	モニタリングや保護者の意向など確認し、職員間で話し合っただけで個別支援計画を作成し、同意を得て、本計画に沿った支援を行うようにしている。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20				子供が興味を持つようなたくさんのプログラムがある。いろいろな活動があり、楽しみにしている。驚くほど様々な活動があり、とても工夫されていると思う。	通所支援計画を基に、毎日の個別課題や集団活動を平日、長期休暇中に応じて柔軟に組み合わせて実施し、課題や目標は月ごとに変化させて、子供たちがいろいろなことにチャレンジして達成感を味わえるように工夫している。

	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	12	4	小学校や近所で交流しているので、放課後等デイサービスでは必要ないと思う。どんな内容の交流なのかわからない。	地域では、子どもクラブでの活動に参加しているので、放デイと放課後児童クラブが交流することはないが、公共施設等を利用して他の子どもと接するときは、マナーを守って周りに迷惑をかけない等、うまく共存していくことを学べるよう努めている。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20			利用の時に丁寧に説明してもらいました。利用者負担等の請求領収はきちんといただいている。不明な時はいつでも問い合わせし、答えてもらえる。	今後も利用契約時に時間をいただき、運営規程や重要事項説明書、支援プログラムなど、1冊にまとめたファイルの内容をしっかりと説明するよう徹底していく。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20			支援内容をよく見てから同意するようにしている。	これまで支援計画を見ていただいていたが、今後は支援計画書の段階で関係者が集まって話し合ってから計画を作成するという過程を徹底していくので、保護者とうまく連携して取り組んでいく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20			親も忙しいので、時間がなかなかとれないが、通信に子育てに関する情報が載せてあり、とても参考になると思った。	ペアレントトレーニングの時間を別に取ってもらうのは難しいので、通信に子育てに役立つ情報を載せて読んでもらうようにしている。保護者からの要望があるときは、知りたい情報を個別にお知らせするなどの対応をしている。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	20			共通理解はできていると思う。連絡帳に写真が貼ってあり、日頃の様子が分かりやすい。送迎の時に話したり、連絡ノートで状況を伝えたりしている。	送迎時に保護者と話したり、連絡ノートで状況を伝えあい、他の職員とも共有している。面談のほか、アンケートで直面する課題や悩みなども寄せていただき、常に子供たちの状況や変化を把握し、共通理解できるように努めている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20			面談もしっかりしていただき、助言が必要な時は相談にのってもらっている。	年に1～2回は面談を行うようにしている。相談はいつでも受けるようにし、迅速な対応を心がけている。今後は支援会議という形で、関係者も含めて話し合う機会を増やしていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	2		支援計画とかをみると、子供のことをよく見てあるなと感じています。共感的な支援がよくわからない。	子供たちを共感的に支援していくために、話をよく聞く、感情を受容する、安心感を提供する、寄り添う、ことに努め、子どもとの信頼関係や安心して自己表現できる環境づくりをしていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	12	2	保護者会は開催されているようだが、まだ参加したことがないのでわからない。他の保護者の方とお話したことがないのでわからない。	保護者の交流は、保護者の孤立感を軽減し、情報交換や成長過程での見通しをつけるために役立つことが多いので、皆さんが参加しやすいような内容、日程の調整やきょうだいの参加も含めて、開催について検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1		苦情受付制度の子とは聞いている。相談したときは、迅速にかつ適切に対応してもらえると思っています。	事業所への苦情があった場合は、苦情受付簿に記載し、職員間で共有し、すぐ改善策を講じるなど迅速な対応に努めています。事業所の第三者委員に相談することも含め、この相談窓口については、定期的に保護者に周知していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20			子供の困りごとで相談したとき、一緒に学校へ行って話し合いをしていただいた。子供のことをとってもらってくださると感じた。	連絡ノートに書かれている保護者の要望や連絡事項は、すぐ職員全員にLINEで周知し共通理解を図り、改善すべきことは迅速に対応するようにしている。保護者の皆さんと意志の疎通を図り、信頼関係を維持していけるよう努めている。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	1			あそび家通信は、写真をたくさん使って、行事内容や子供達の様子を発信してくれました。子供たちの活動内容も写真で十分知ることができます。ホームページはあるかよくわからない。	あそび家通信には、その月の子どもたちの活動の様子をわかっただけのため、写真をたくさん載せ、時には子育てや最新の情報について分かりやすく掲載しています。通信は保護者の方のみ配信しています。事業所の評価などは保護者への配布とホームページで報告します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20				利用開始時に説明を受けている。個人情報の取り扱いには十分注意されていると思う。	個人情報に関する同意内容に基づき、写真等は利用者の意向に沿った取り扱いをするよう職員にも徹底している。通信も外部には出さないようにし、利用者の基本情報や面談記録、通所支援計画、相談支援計画、受給者証等は個別のファイルにまとめ、保管している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	8			マニュアルには利用契約時に聞いている。たくさんあるようだが、詳しいことはわからない。	契約時に事業所の規程、マニュアルをまとめたファイルをいつでも閲覧できることをお話しするようにしている。行政からの指導で新しく規程等を作成したり、内容の変更もあるので、ファイルを最新のものに整備し、いつでも閲覧していただけるようにしていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	3			毎年、消防訓練がされているのは、通信で知っている。いつされているのか、どの程度なのかよくわからない。	消防署に届けての火災訓練のほか、地震訓練をしている。今後は年間の計画を立てて、避難訓練や防災、不審者対応など必要な訓練を行い、訓練の様子など保護者の皆さんへ報告をしていく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	3			事業所では、安全が確保できるよう、十分に注意しておられると思っている。安全計画については分からない。	令和6年に安全計画を策定し、衛生、常備品の点検、事業所内設備に関する点検、消防点検、車両点検を定期的に行うようにしている。保護者に皆さまにも安全点検等の状況を周知しながら、子供たちの安全確保に努めていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20				スポーツ中にケガをしたときは、すぐ連絡があり謝罪もされた。ケガをして受診したとき、見舞金をいただいた。	保護者へ怪我をした状況や処置など直ぐに連絡し、受診などの対応を調整し迅速に対応している。怪我の状況や事故が起きた経緯等について、ヒヤリハット報告書を作成し、県にも報告している。また職員間で共有し、再発防止に努めている。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19	1			親は学習が遅れている分、あそび家で教えてもらいたいのですが、本人が勉強をさせられるのが嫌だから、行きたくないということがあります。	保護者の意向や本人の状況に沿って、学習や運動に力をいれているため、子どもの思いに添えないこともあります。子どもたちが安心して過ごせる環境や保護者が安心して働ける環境を提供できるように努めています。子供たちに学習することの楽しさや達成感を味わってもらえるように支援していきます。
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20				いつも楽しみにして、行っているのがよくわかります。たくさんイベントを用意してくれて、次は何かと氣にしているようで、とても楽しみにしています。	毎月のイベントは、スポーツ、公園遊び、公共施設の利用、工作や調理、季節の行事などいろいろな企画をして、実際に体験し多くの事を学んでいけるように常に工夫している。中学に向けて、その子に必要な学習の支援にも力を入れて、多方面から子供たちの成長をサポートし、子供たちが楽しみながら、自分でできる事を増やしていけるように、あそび家1号店と2号店が連携して支援していきます。

	29	事業所の支援に満足していますか。	20			<p>子供の得意、不得意をよく理解してくれていて、できるようになるまで、たくさんの方を教えているのが伝わります。うちの子供にとっては最適な場所だと思っています。</p>	<p>子供たちが社会で自立し、より良い生活を送るためのスキルを育むことを目的として、コミュニケーション能力の向上、社会性の発達、自己肯定感の向上、日常生活や学校生活の安定化を図るために、必要なことを少しずつでも習得し、成長していけるように支援をしています。これからもあそび家1号店と2号店で連携して、利用者に皆様に満足してもらえるような、より良き放課後等デイサービスを目指していきます。</p>
--	----	------------------	----	--	--	--	---